

1 主題名 自分らしく生きる 内容項目A—(3) 向上心、個性の伸長 教材「ジャッジとチャレンジ」

2 指導の構想

【何ができるようになるか】(単元の目標)

「自分を高める」

- ・集団行動の中で、主体的に判断し、自分の責任のもと、行動する。(自分で決める力)
- ・取組全体を通して、自己の個性を生かそうとしたり、向上させようとしたりする。
(自分を発揮する力)

「人とよりよく関わる」

- ・目標を達成しようとして行動することを通して、協力すること、思いやりや感謝の気持ちを態度で示す。(他者理解)

【何を学ぶか】(主題の価値)

本主題は、自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求することに関するものである。

人それぞれに必ずその人固有のよさがあり、それは、他者と取り換えることのできない一人一人の人間がもつ独自性であり、個性である。

生徒は現在の自分、そして将来「こう在りたい」という自分を静かに見つめ直す。その中で、現状に甘んじることなく、向上心を持ち、個性を生かし、より輝かせることにより、自分らしさを発揮し、自分自身が納得できる深い喜びを伴った意義ある人生を送ろうとする態度を養おうとするものである。

【本教材を通して】

本教材は、現在、サッカーの国際副審の山内さんの生き方を通して、自分のよさを生かし、向上心を持ち、夢の実現に向けてチャレンジし続ける充実した生き方について考えさせることができる教材である。

【どのようにして学ぶか】

総合の単元の流れ [単元計画 (10時間)]

(1) 目標をもつ (2時間)

まず、体育会の成功のために、「自分を高める」「人とよりよく関わる」について自分の目標を立てる。そのために、どんな体育会にしたいかを捉え、学級目標を定める。

(2) 実践する (6時間)

次に、目標達成に向けて改善すべき点を捉える。ここでは、体育会までの課題解決の見通しをもつために、練習等の計画表をあらかじめ確認し、週の初めに一週間の予定を確認する。また、学級練習、学年練習、ブロック練習、全体練習を通して体育会を成功させるためにどうすればよいか探る。ここでは、その中で自分をどう高めるか、人とどう関わるかを話し合う。

(3) 振り返る (2時間) 【本時含む】

最後に、自分の目標をどの程度達成できたのか考えるために、体育会を成功させることができたのか話し合う。また、これから、生徒会役員選挙を控え、久山中学校のリーダーとして活躍していくために必要なものは何かを共有する。

【生徒の実態】

本学級の生徒は、第1学年で教材「自分の性格が大嫌い！」を学び、これまで気づいていなかった自分自身のよさや個性を見だし、それを伸ばしていきたいという意欲を喚起した。

第2学年8月に行ったアンケートでは、「部活最後の大会に怪我をして出場すべきか。」という質問に対し、78%の生徒が「大会に出るべき。」と答えた。その理由として、「今まで頑張ってきた努力が無駄になるから。」や「チームスポーツだったら仲間迷惑がかかるから。」というものが多かった。このことから、本学級の生徒は、何かに取り組むとき、1つのことを諦めずに取り組むことが良く、諦めるのはよくないという意識をもっていると考えられる。

3 本時

(1) 目標

- 自らを成長させるには、現状に甘んじることなく挑戦し続けることが大切だということに気づき、向上心をもち、個性を伸ばしながら充実した生き方をしようとする心情を育てる。

(2) 準備

- ①センテンスカード ②学習プリント

(3) 展開

過程	学習活動・内容	指導の手立て (○) と評価 (◇)
導入 10分	1 体育会を通してどのようなことを学んだかを共有する。 ・協力して取り組むことが大切 ・諦めずに最後まで頑張った	○ 諦めずに頑張ることがよいという考えを出させるために、体育会の取組の写真や、振り返りプリントを用いる。
	(めあて) 自分が納得できる生き方をするために大切な気持ちについて考えよう。	
展開 30分	2 教材「ジャッジとチャレンジ」をもとに、山内さんの生き方を捉える。 (1) プロを目指していたのに、実力が無いと諦め、審判を目指した山内さんをどう思うか考え、話し合う。 ・共感する (自分に向いていることをする方がよい) ・共感しない (選手としてやり抜くべきだ) (2) 主審から副審に転向した山内さんをどう思うか考え、話し合う。 ・共感する (主審の経験を生かせる) ・共感しない (主審は審判の花形) (3) あなたが山内さんなら、選手から審判に転向するか考え、話し合う。	○ 生徒の考えを視覚的に表すために、ネームプレートを用いて賛成と反対の立場に分けさせる。 ○ 生徒の考えを揺さぶるために、導入での「諦めずに最後まで頑張ることを学んだ」という考えと比較させる。その際、根拠を述べさせる。 ○ サッカーの審判の花形である主審とそれをサポートする立場の副審の違いを理解させるために、写真を掲示する。 ○ 教材と自分自身を結びつけるために、山内さんの立場に立って考えさせる。
終末 10分	3 本時で学んだことを振り返る。 (1) 本時の学習で学んだことを記述し、発表する。 (2) 教師の説話を聞く。	○ 本時の学習内容をより定着させるために、教材を通して考えた充実した人生の送り方について振り返らせる。 ◇ これから過ごしていく中で、自分を高めていけるような選択をする心情が大切だと書き表すことができたか。〈学習プリント分析〉